

広木大町古墳群(児玉郡美里町) かわいい前方後円墳もある

両子塚(ふたごづか)古墳



前方後円墳/6世紀後半～7世紀代の築造/東側から見たところ



西側から見る



右手前方はゴルフ練習場でここに大きな池(摩訶池)があった



南側から見る/左手が前方部、右手が後円部



前方部から後円部を見る



後円部から前方部を見る



この正面前方に円墳群があるようだ



そちらへ進んでみる/いくつかの高まりが見えてきた



これらも含めて広木大町古墳群と呼ばれる



南西側から見る



西側から見る/この道路の前方に先ほどの両子塚古墳がある/正面に説明板が立っている



広木・大町古墳群は、小山川右岸に存在する古墳群で、その多くがここ広木地区から沼上地区にかけて分布している。

昭和48・52・56年度の3回にわたる発掘調査で、98基の古墳を確認、そのうち84基を精査した結果、次のことが判明した。

- (1) 墳形は、前方後円墳、円墳、方墳で、少なくとも100基以上で構成された群集墳である。
- (2) 埋葬施設は、横穴式石室であり、主として小山川で採集された片岩系の河原石を利用している。
- (3) 出土した代表的遺物は、埴輪、直刀、馬具および勾玉・金環などの装身具、高坏・平瓶などの須恵器がある。
- (4) 築造年代は、出土品から、6世紀中頃から7世紀代と推定される。なお、現在は両子塚古墳（前方後円墳）をはじめ、8基の古墳が保存されている。



ここには7つの円墳が並んでいる/6世紀後半～7世紀代の築造



①
↓



②



①



①
↓



③



②



③
↓



葦石であろうか



④



③



④
↓



横穴式石室の名残りであろうか



④



⑤



④
↓



⑤



⑤の墳丘から南方向を見る



⑥

⑦



⑥
↓



⑦
↓



⑦
↓



⑦の墳丘から北方向を見る



⑦の墳丘から東方向を見る



⑦の墳丘から①(南方向)を見る



この⑦にも葦石が見られる



摩訶池(ゴルフ練習場になっている)/旧跡「さらし井」そばの常福寺の開山、空興上人が灌漑用に築かせたものという



ここは古墳群の南側にある延喜式内社の「みか神社」



この神社付近からは埴輪を伴う6世紀の竪穴式住居跡が発掘されたという/埴輪・土器の製作者集団が居住していたことが指摘されている



甌麤神社

所在地 児玉郡美里村大字広木

甌麤神社の創立年代は不詳であるが、醍醐天皇の延喜式神明帳に登載されている古い社で、祭神に櫛御氣野命、櫛甌麤玉命の二神が祀られている。江戸時代の享保八年（一七二三）に正一位を授けられたと伝えられ、宝暦八年（一七五八）に建設された境内の碑にも「正一位みかの神社」とある。現在の社殿は宝暦十三年に再建したもので、これを記した棟札が残っている。

社名のみかとは酒を造るために用いた大きな甕（かめ）のことで、現在、当社に御神宝とされていたと思われる土師器のミカが四個保存されている。

例祭は、毎年四月十三日と十月十五日に行われ、以前は秋の例祭に新米で濁酒を二瓶造り、これを神前に奉納して、その一つは翌年春の参拝者に分け与え、他の一つは秋の例祭のときに新調したものと交換していた。現在は清酒を奉納し、これを御供物として参拝者に分け与えている。

昭和五十八年三月

参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/misato_hiroki1/

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/misato_ryouko2/

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/56_msto/hiroki1.html

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/56_msto/hiroki2.html

<http://www.asahi-net.or.jp/~ab9t-ymh/kakuchi/kodama01/hiroki2.html>

<http://members3.icom.home.ne.jp/kofun2-hp/saimisat9.htm>

<http://kagura.wa-syo-ku.com/%E7%BE%8E%E9%87%8C%E7%94%BA%E3%81%AE%E7%A5%9E%E7%A4%BE/>

<http://pyrite.s54.xrea.com/timei/photo/misato/>

